Model 2000017066

Coleman
The Outdoor Company™

ROADTRIP® Grill LXE-J Ⅱ

取扱説明書

保証書付

保証書は、この取扱説明書の末尾についています。

もくじ

警告 …… 1,2
注意 …… 3,4
セット内容・パーツリスト …… 5
各部の名称 …… 5
ご使用の手順とご注意
[グリルの組み立て] …… 6
[点火の準備] …… 7
[点火の方法] …… 7
[火力の調節と消火] …… 8
[収納] …… 8
日常の点検・お手入れの方法 …… 9
故障・異常の見分け方と処理の方法 …… 9
仕様・保証書 …… 10

このたびは、ロードトリップ®グリル LXE-J Ⅱをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。
お読みになった後も、この取扱説明書及び保証書を大切に保管してください。
修理・補償を受ける際に必要になります。

※改良のため仕様および外観を予告なく変更することがあります。

製品を正しくお使いいただくため及び、ご自身や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

一般的な禁止

一般的な注意

必ず行う

接触禁止

火気禁止

※改良のため仕様および外観を予告なく変更することがあります。

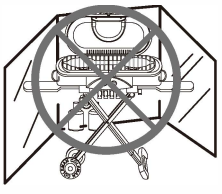
⚠警告　安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ（容器）の取扱いについて

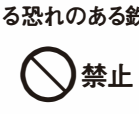
1.以下のような使い方は厳禁!ガスカートリッジ（容器）が過熱し爆発の原因となります。

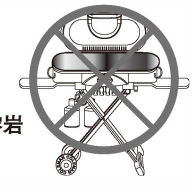
●風防、鉄板や岩などで囲うような使用。

禁止



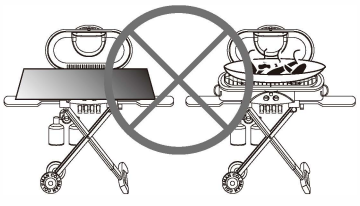
●炭の火起こし、スモーカーの熱源、セラミック・溶岩等の熱を蓄える恐れのある鉄板等の使用。


禁止



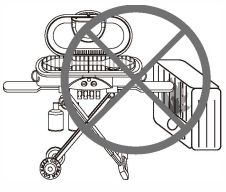
●グレート（ごとく）より大きな鉄板・両方のバーナーをまたいで覆う鉄板、鍋等グリルを覆ってしまう物の使用。

禁止



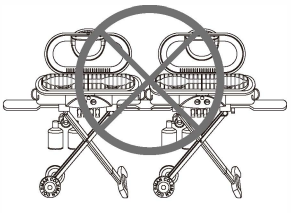
●他の燃焼器具のそばでの使用。

禁止



●グリルを2台以上ならべての使用、他のグリル・火気・焚火のそばでの使用。

禁止

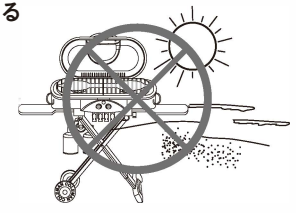


●調理以外での目的での使用。

禁止

●夏の砂浜など日光によってガスカートリッジ（容器）が過熱するような場所での使用。

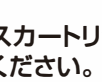
禁止



●ダッチオーブンのカラヤキ。

禁止

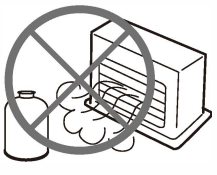
●その他、ガスカートリッジ（容器）が過熱するような行為。


禁止

2.ガスカートリッジ（容器）は熱気のあたる所に放置しないでください。

●ガスカートリッジ（容器）はファンヒーターの前など熱気のあたる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

禁止



⚠警告　安全のために必ずお守りください。

3.ガスカートリッジ（容器）を火中に投じないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

4.ガスカートリッジ（容器）は火気の近くや直射日光（室内や車内の窓際など）の当たる場所等40℃以上になる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

5.ガスカートリッジ（容器）は風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に容器キャップをはめて保管してください。また器具使用後は必ずガスカートリッジ（容器）を取り外して別々に保管してください。

6.使用済みガスカートリッジ（容器）の処理について
使用済みガスカートリッジ（容器）は、キャンプ場などに放置せずに必ず持ち帰り、下記の要領に従って処分してください。

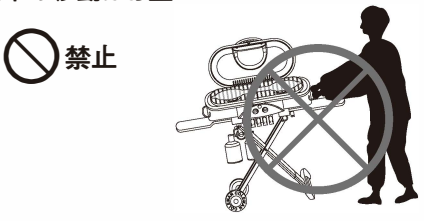
●ガスカートリッジ（容器）は完全に使い終わってから、各自治体の指示に従って捨ててください。

不燃ゴミの中でも別に!

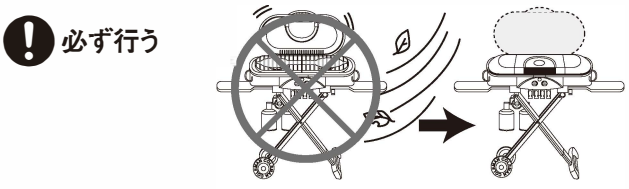
●ガスカートリッジ（容器）にまだガスが残っている場合は、使い切ってから捨ててください。ガスカートリッジ（容器）を振ってサラサラと音のする場合には、まだガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、火中に投入すると爆発し危険です。

グリル使用上の注意

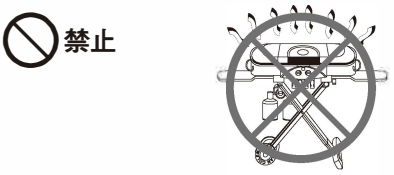
1.使用中の移動はお止めください。



2.風の強い場合や人が回りに大勢いるような場合、ぶつかったりし、フタが急に閉まり、手をはさむ恐れがあります。そのような場合は、フタを外してお使いください。

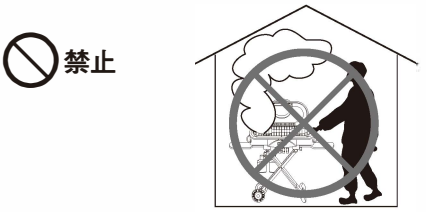


3.フタを閉めた状態でのカラヤキは絶対にお止めください。安全のため、常に汁受け皿に水を入れてご使用ください。



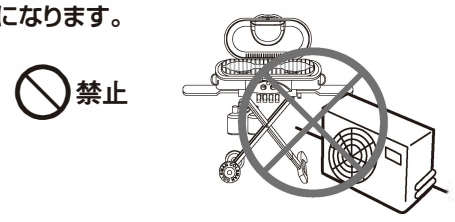
使用場所の注意

1.屋外専用です。使用中は多量の酸素を消費しますので、窒息や中毒を起こす恐れがあります。その為、家の中、テントの中、車の中もしくは換気の不十分な場所では絶対に使用しないでください。**一酸化炭素（CO）中毒により、最悪の場合には、死亡事故につながります。**

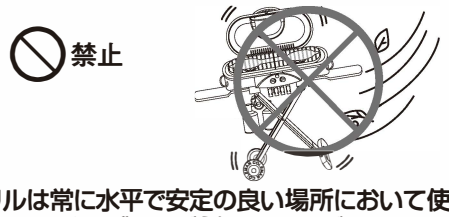


2.使用中は多量の酸素を消費します。換気には十分注意してください。

3.エアコンの室外機付近では使用しないでください。燃焼の妨げになります。

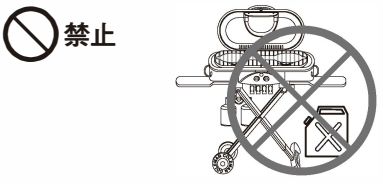


4.風の強い場所での使用は避けてください。風で火が吹き消されたり、フタが閉まることがあり、危険です。



5.グリルは常に水平で安定の良い場所において使用してください。斜めに置くとグリルが倒れる恐れがあります。

6.可燃物・引火物の近くでは使用しないでください。



⚠注意　安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ（容器）の取扱いについて

1.ガスカートリッジが（容器）に表示してある注意事項を良く読んでからご使用ください。

必ず行う

●保管してあるガスカートリッジ（容器）は時々点検して、さびが発生している場合にはできるだけ早く使用してください。

必ず行う

●ガスカートリッジ（容器）にLPガスの再充填はできません。

禁止

2.ガスカートリッジ（容器）のガスを故意に吸い込むことは禁止。酸欠の原因となります。

禁止

3.ガスカートリッジ（容器）に、強い衝撃を与えないでください。変形するとグリルにセットできなかったりガス漏れの原因となります。

禁止

ガスカートリッジ（容器）はコールマン純正LPガス燃料230g/470gをご使用ください。

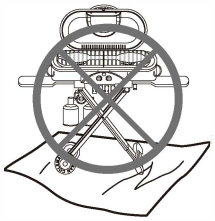
コールマン製品ではガス燃焼器具とガスカートリッジ（容器）を一体にした状態で設計、品質管理を行っています。性能・安全を維持する為にも、コールマン純正LPガス専用カートリッジ（容器）をご使用ください。

必ず行う

火災予防の注意

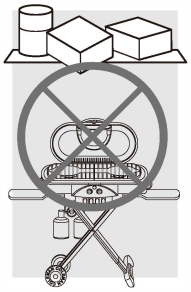
1.グリルの下に段ボール紙など燃えやすいものや熱に弱いもの（ビニールクロス）を敷いたり通気の妨げになるものを置かないでください。火災の原因となります。

禁止



2.上から物が落ちる恐れのある場所等で使用しないでください。火災の原因となります。

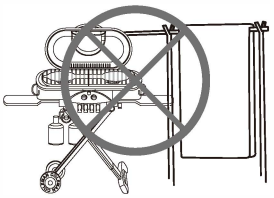
禁止



物が落ちる恐れのある場所

3.燃えやすい物から上部1.2m，周囲は50cm以上離してご使用ください。特にテント、スリーピングバッグ、干してある洋服等の近くでは使用しないでください。

禁止

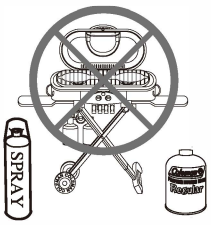


4.火をつけたまま器具の使用場所を離れたりしないでください。火災など思わぬ事故の原因となります。

禁止

5.グリルを使用中、近くに予備のガスカートリッジ（容器）やヘアスプレーなどを放置しないでください。熱でスプレー缶等の圧力が上がり爆発の原因となります。

禁止



6.ヘアスプレーなど、引火の恐れのあるものを近くで使用しないでください。火災の原因となります。

禁止

⚠注意　安全のために必ずお守りください。

ガス事故防止

1.ガスカートリッジ（容器）がセットされていて、着火していないのに器具栓ツマミが〈OFF〉以外の位置にあると、ガス漏れを起こし危険です。十分にご注意ください。

注意

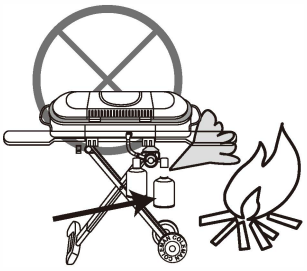
2.ガスカートリッジ（容器）は正しく装着してください。

●ガスカートリッジ（容器）を正しく装着しないと、ガスが漏れて火災の原因となります。詳しくは7ページ「点火の準備」を確認ください。

必ず行う

●ガスカートリッジ（容器）の取り付け、取り外しの際には少量のガスが漏れます。周囲に使用中の燃焼器具や火の気がないことを確認してから行ってください。

禁止



3.使用中、玉ねぎの腐ったようなにおいがしたら、ガス漏れを起こしています。すぐに換気を十分にしてください。LPガスは比重が重く下部にたまります。ガス漏れに気付いたときは、絶対に火をつけたり電気製品のスイッチを入れたり、火気の使用をしないでください。引火による爆発の恐れがあります。

●使用をやめガスカートリッジ（容器）をはずしてください。

火気禁止

4.使用時の点火・使用後の消火のほか、使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。使用中は器具から目を離さないでください。

必ず行う

使用上の注意

1.この器具は屋外専用調理器具です。調理以外の用途には使用しないでください。過熱・異常燃焼などによる焼損や火災などの危険があります。

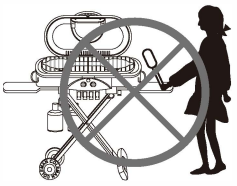
禁止

2.使用中や使用直後はバーナー・グレート（ごとく）・トッププレート・サイドハンドルは高温になっておりますので、手を触れないでください。火傷の原因となります。後片付けをする場合は、器具が完全に冷えてから行ってください。

接触禁止

3.使用の際は特にお子様にご注意してください。お子様がグリルを使用するのは絶対に止めてください。器具を保管する場合も幼児・子ども等の手の届かない所に保管してください。

接触禁止



4.点火するときは炎があがります。バーナーの上におおいかぶさらないようにしてください。

接触禁止

5.万一異常音、ガス臭、赤火など起こしたときや緊急の場合は、あわてず器具栓ツマミを右（OFF）の方向に回して消火し、ガスカートリッジ（容器）を本体から取り外してください。

必ず行う

6.グリルを改造して使用しないでください。

禁止

7.補助具はこの器具専用の付属品あるいはコールマン社指定のもの以外は使用しないでください。思わぬ事故の原因となります。

必ず行う

8.「故障・異常の見分け方と処理の方法」9ページを参照し指示に従ってください。

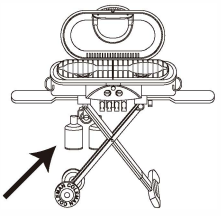
必ず行う

9.収納はグリルが完全に冷えてから行ってください。

必ず行う

10.グリルをたたむ際は、必ずツインパックを外してからにしてください。

必ず行う

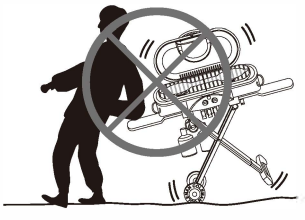


11.使用後はその都度、取扱説明書に従って点検・お手入れを行ってください。

必ず行う

12.グリルのサイドテーブルを使用する際は、重量が5kgを越えないようにしてください。手をかけて、体重をかけるようなことはしないでください。

必ず行う



セット内容・パーツリスト

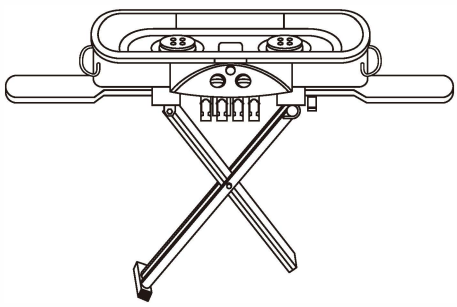
お使いになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●フタ ×1

●グレート（ごとく）×2

●汁受け皿 ×1

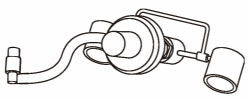
●本体 ×1



●移動用ハンドル ×1

●ホイール、ボルト、ワッシャー ×2
（レンチ付）

●ツインパック ×1



●9V形アルカリ乾電池 ×1

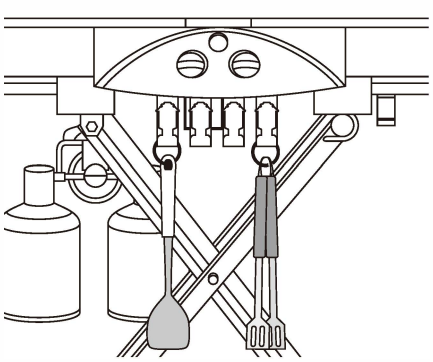
パーツNO.	英語名	パーツ名
① 082404	Grill Grate	グレート（ごとく）
② 5010002816	Wheel	ホイール（ネジ付）

※表示のパーツリストは2014年1月1日現在のものです。

各部の名称

ハンドル
フタ（着脱式）
バーナー
グレート（ごとく）
汁受け皿
サイドハンドル
サイドテーブル
点火ボタン
ツインパック
器具栓ツマミ
燃料（別売）
コールマン純正
LPガス燃料（Tタイプ）
ガスカートリッジ（容器）
バッテリーボックス
スタンド
アクセサリーホルダー
ホイール
移動用ハンドル

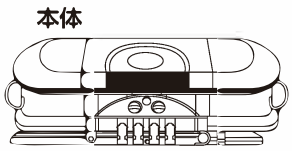
本製品にはアクセサリーホルダーが4ケ所あります。ターナーやトング等の調理器具を掛けるのに便利です。

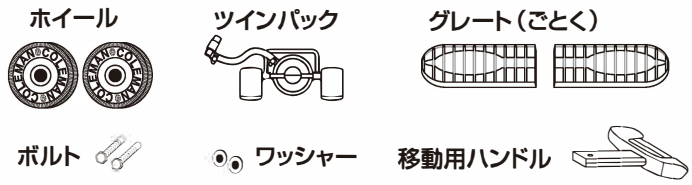


ご使用の手順とご注意

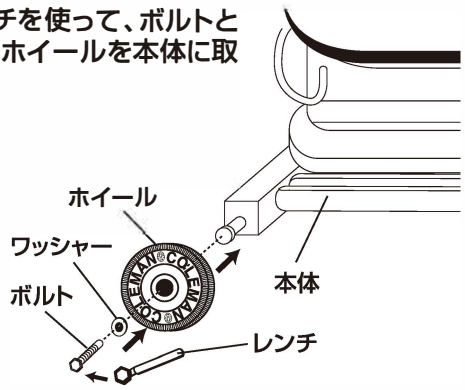
グリルの組み立て

1.箱から本体・ホイール・移動用ハンドル・ツインパック・グレート（ごとく）を出します。パーツがすべてそろっているか確認してください。

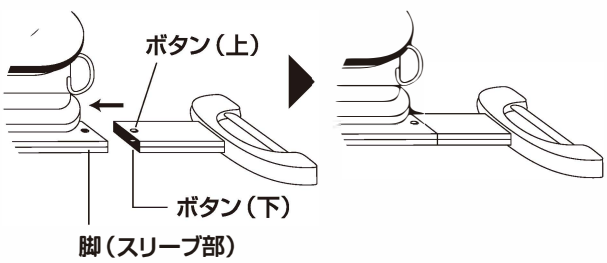




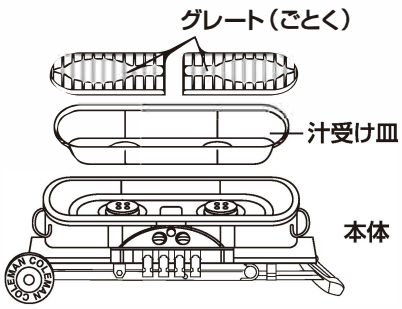
2.付属のレンチを使って、ボルトとワッシャーでホイールを本体に取付けます。



3.移動用ハンドルを取り付けます。ハンドルを脚のスリーブ部に差し込みます。上下のボタンを押し、下のボタンがスリーブの穴にカチッと音がするまで押し込んでください。ボタンが穴に確実にはまっていることを確認してください。

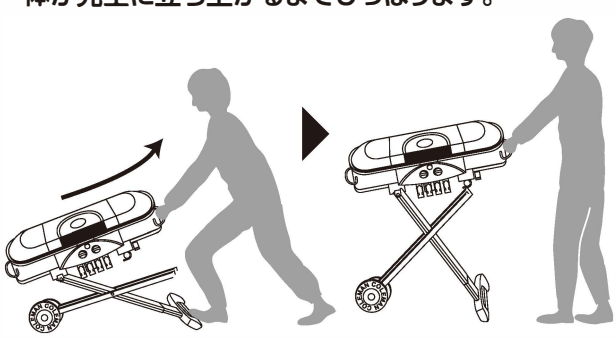


4.本体に汁受け皿、グレート（ごとく）が順番にセットされているか確認する。

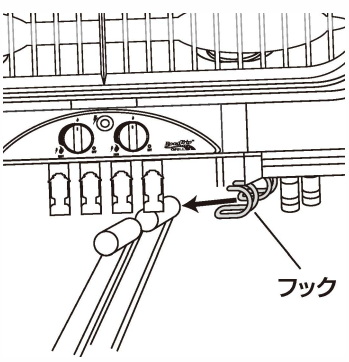


5.ホイールと移動用ハンドルにより、ロードトリップグリルは簡単に移動できるようになります。

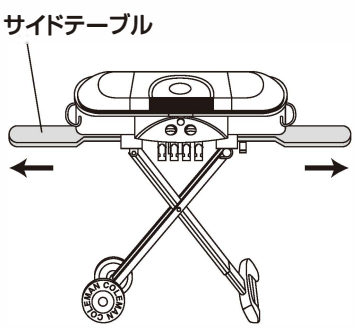
6.本体をたたんだ状態から、使用サイズにします。移動用ハンドルを脚で押え、サイドハンドルを持ち、本体をすこし上に動かし、手前にひっぱります。本体が完全に立ち上がるまでひっぱります。



7.グリルの脚が完全に立ち上がるまでひっぱり、本体下のフックを脚上部にひっかけます。

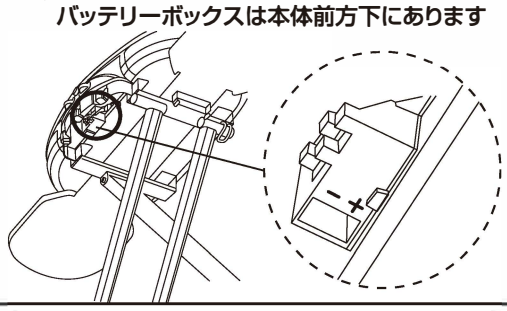


8.サイドテーブルをひろげます。

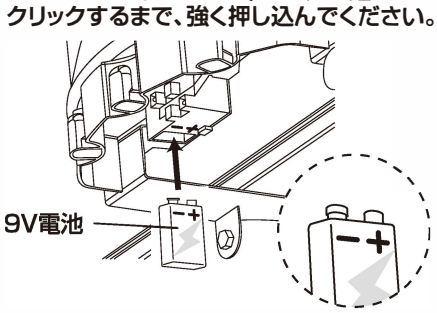


9.セットに含まれている9V乾電池をバッテリーボックスにいれます。

①バッテリーボックスの+−の位置を確認します。バッテリーボックスは本体前方下にあります



②9V乾電池の+−を確認し、バッテリーボックスの+−にあわせボックスに下から差し込みます。クリックするまで、強く押し込んでください。



③乾電池をはずすときは、下にむけて、強く引っ張ってください。しっかりはまっていますので、何度か引っ張ってください。

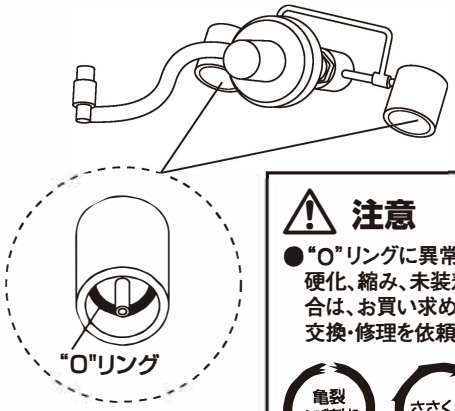
10.汁受け皿にMAXの線まで水を入れます。使用中は常に水を入れます。

⚠ 注意

- 使用後は乾電池を取り外して保管してください。乾電池を入れたまま放置すると液漏れ等をおこす恐れがあります。
- 分解・改造をしないでください。故障の原因となります。

点火の準備 ❗ 屋外の火の気のない所で行ってください。 ガスカートリッジ（容器）はコールマン純正LPガス燃料230g/470gをご使用ください。

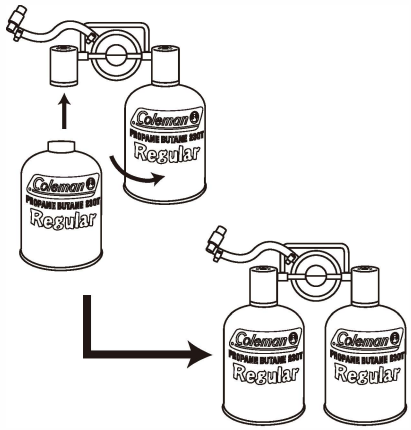
1.ツインパックにガスカートリッジ（容器）を取り付けます。ツインパック両側にあるガスカートリッジ接合部にある“O”リングに損傷がないことを確認します。



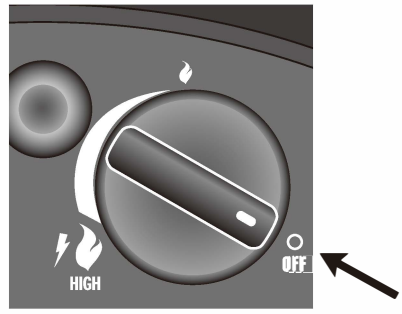
⚠ 注意

●“O”リングに異常（亀裂、破損、硬化、縮み、未装着等）がある場合は、お買い求めの販売店にて交換・修理を依頼してください。

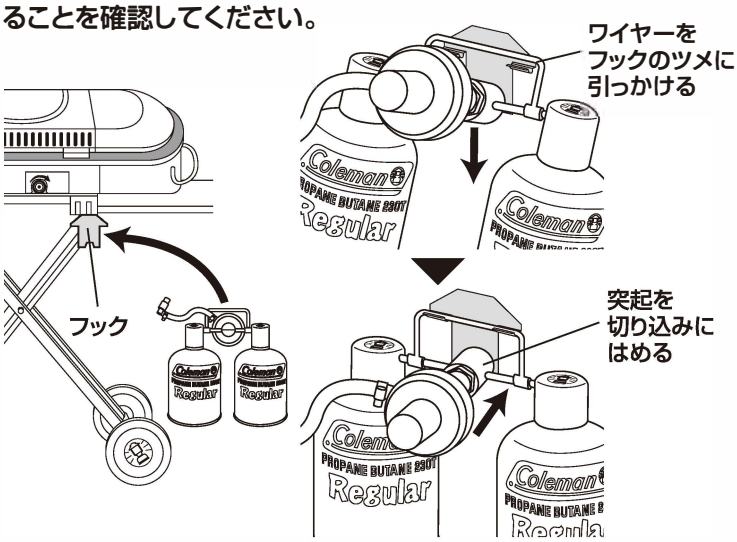
2.ツインパックに容器を水平にして、接合部にたいして垂直に取り付け、反時計回りに完全に止まるまで確実にねじ込んでください。必ず両方に容器を取り付けてください。



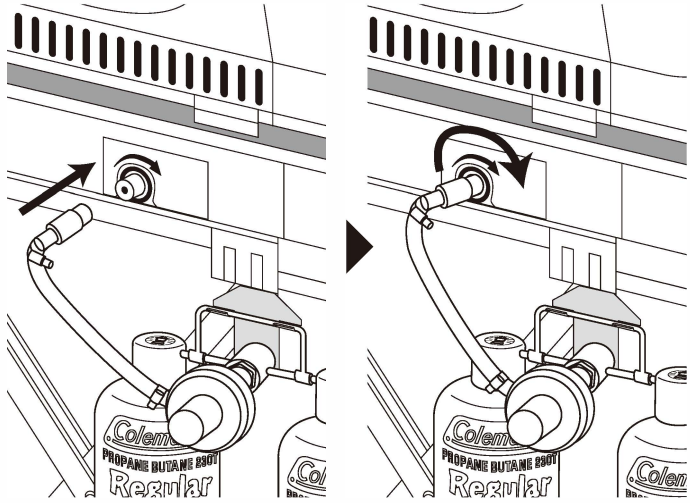
3.左右の器具栓ツマミを右（OFF）の方向に止まるまで回し、器具栓が完全に閉じていることを確認してください。



4.グリル左後方にあるフックに容器を取り付けたツインパックのハンドル部分をかけます。フックのツメにツインパックのワイヤー部をひっかけます。突起が切り込みにはまっていることを確認してください。



5.ホースの先のアダプターをグリル後方のアダプターに差し込んで、アダプターカバーを時計周りに止まるまで確実にねじ込んでください。



⚠ 注意

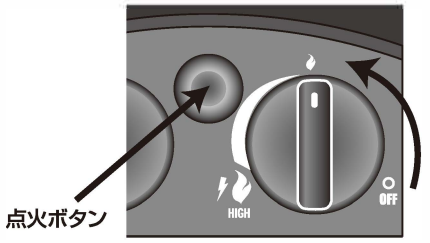
●ガスカートリッジ（容器）を取り付ける際は、無理矢理押し込んだり、斜めに押し込んだりすると接合部を損傷する恐れがあります。
●ガスカートリッジ（容器）を斜めに傾けて取り付けると液状のガスが噴出して危険です。必ずガスカートリッジ（容器）を水平にして取り付けてください。
●ガスカートリッジ（容器）取り付け時、若干のガスが漏れますので、必ず周囲に火気がないことを確認してください。
●ガスカートリッジ（容器）のふたは捨てずに保管してください。ガスが使い切らなかった場合、保管につかいます。
●ガスカートリッジ（容器）がスムーズに回らないときは、正しくセットされていません。もう一度セットし直してください。

点火の方法 ❗ 必ず屋外の火の気のない所で操作してください。

1.器具栓ツマミを押して左（HIGH）の方向に回してガスを出し、点火ボタンを押して点火します。

2.バーナーに点火したことを確認してください。

3.点火しにくい場合は、器具栓ツマミを右（OFF）の方向に回してガスを止め、しばらくまった後、再度1の方法で点火してください。



⚠ 注意

●ガスの勢いが強すぎたり、気温、風、湿度等の自然条件により点火がうまくいかない場合があります。この様な時はマッチ、ライター等で点火してください。
●点火していないのに、器具栓ツマミを右（OFF）の方向に回らなくなるまで回していないと、ガス漏れを起こし危険です。必ず点火を確認してください。
●炎は上に上がるので、点火操作をするときは、器具の上にかがみこまないでください。
●一度で点火しない場合は、左記、点火作業を繰り返し、確実に着火したことを確認してください。
●点火操作は、本体を水平な場所に置いて行ってください。
●本体を傾けて点火しないでください。

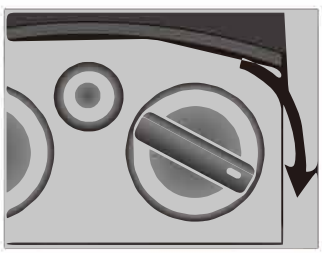
火力の調節と消火 ❗ 必ず屋外の火の気のない所で操作してください。

〈火力の調節〉

火力の調節は左（HIGH）の方向に器具栓ツマミを回すと火力が強くなり、右（OFF）の方向で弱くなります。

〈消火〉

器具栓ツマミを右（OFF）の方向に回らなくなるまで回します。消火を確認してください。



⚠ 注意

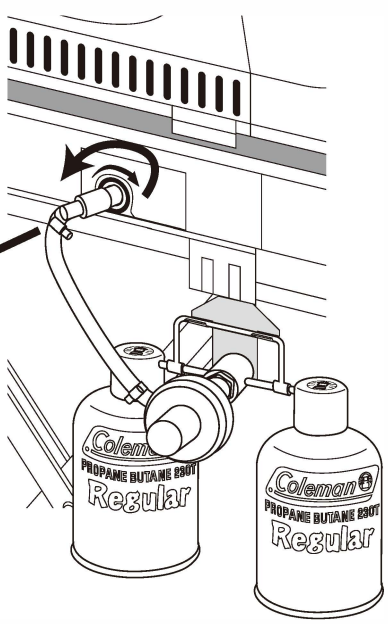
- ●器具栓ツマミを急激に回すと、炎が消えることがありますので、ご注意ください。
- ●炎を小さくすると風などで消えることがありますので、ご注意ください。
- ●使用中は、時々正常に燃焼しているか確認してください。
- ●消火は、器具栓ツマミを完全に右（OFF）の方向に回らなくなるまで回してください。火が消えても完全に回っていないとガス漏れします。
- ●使用中及び使用直後は本体が非常に熱くなっています。

収納 ❗ 必ず本体が完全に冷えてから作業を行ってください。

⚠ 注意

- ●器具栓ツマミが右（OFF）の方向に止まるまで回っていることを確認してください。

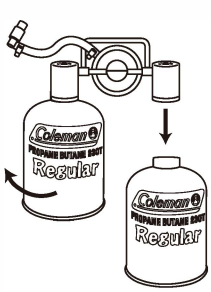
1.ツインパックのホースアダプターを反時計回りに回して取り外します。
ツインパックを本体から取り外してください。



⚠ 注意

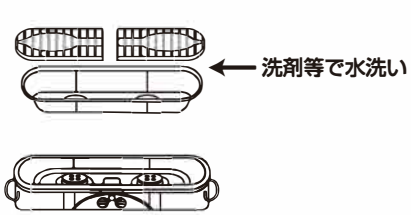
- ●脚をたたむ前に必ずツインパックを本体から取り外してください。

2.ツインパックからガスカートリッジ（容器）を垂直に時計回りに回して取り外してください。



3.ガスカートリッジ（容器）は側面に書いてある注意を参考に低温・低湿の場所にキャップをして保管してください。

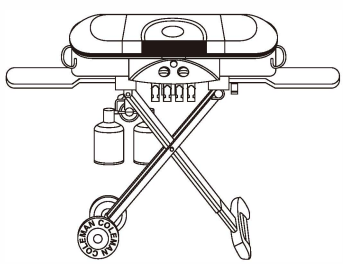
4.グレート（ごとく）、汁受け皿は取り外し、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）で洗うなどし、油・汚れを落とします。十分に水気をとり、本体に戻します。濡れた状態で保管するとサビの原因になります。



⚠ 注意

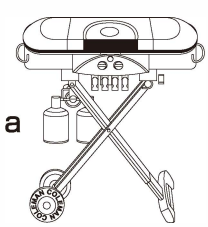
- ●ガスカートリッジ（容器）は、必ず容器キャップをはめて風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
- ●幼児・子どもの手の届かない所に保管してください。

5.フタを閉め、ロックがかかっているか確認します。



6.次の方法で収納できます。サイドテーブルを戻し、湿気のない場所に保管してください。

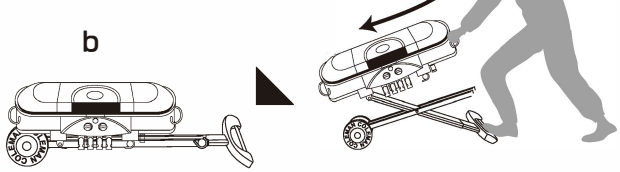
a.そのまま、フタをした状態



b.脚をたたんだ状態

脚はつぎのように折りたためます。移動用ハンドルを脚でおさえ、サイドハンドルを持ち、本体を上に持ち上げるようにして、本体裏のフックから本体脚を外します。

脚をたたみ、本体をゆっくり降ろします。脚の中心部を本体裏のブラケットにはめ込むようにして、固定します。



⚠ 注意

- ●長期保管の際は電池を取り外してください。

日常の点検・お手入れの方法

●ご使用後は、そのつど必ずお手入れをしてください。
●点検・お手入れは、必ずガスカートリッジ（容器）を取り外して、グリルが十分冷えてから行ってください。
●故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。ご家庭での修理は危険ですので、お買い求めの販売店に保証書を添えて点検、修理をご依頼ください。

点検とお手入れのポイント

本　体	バーナーおよびその周辺	汁受皿・グレート（ごとく）
●台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）をしみこませた布で汚れを十分にとった後、お湯でしぼったきれいな布で、もう一度ふいてください。 ※シンナー、ベンジン、みがき粉、ナイロンタワシ、金属性のタワシなど、傷がつきやすいものは使用しないでください。 ※本体の丸洗いは絶対にしないでください。	●バーナーが穴づまりをおこすと、完全燃焼をおこし危険です。穴がつまって炎が不ぞろいになったときや汚れがひどいときは、金属ブラシや千枚通しなどで掃除してください。電極部の汚れは、点火不良の原因になります。乾いた布でふき取ってください。（このとき、電極部の位置を動かさないようにしてください。）	●汁受皿・ごとくを煮汁や油で汚れたままにしておくと、腐食を早めます。ご使用のつど、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を適量使用し、汚れを落とした後、水気の残らないよう乾いた布でふきとってください

長時間使用しないとき

1.ガスカートリッジ（容器）をグリルから必ず取り外してください。
2.汁受皿、本体などが汚れていないか、よく乾いているかを確認してください。
3.グリルの各部が十分冷えてから、湿気の少ない所に保管してください。
4.ガスカートリッジ(容器)は、容器キャップをつけ、風通しの良い、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
※長期間ガスカートリッジ(容器)を保管していたり、保管状態が悪いとサビが発生し、ガス漏れの原因となることがあります。ときどき点検してください。ガスカートリッジ(容器)は古いものから使用し、早めに使いきってください。

故障・異常の見分け方と処理の方法

●LPガスの性質上気温が低い場合やガスカートリッジ（容器）が冷えた場合には炎が小さくなることがありますが、器具の異常ではありません。
●連続使用（30分以上）した場合、炎が小さくなることがありますが、異常ではありません。

原因 ＼ 現象	専用ガスカートリッジ(容器)を使用していない。	専用ガスカートリッジ(容器)内の残ガスが少ない。	バーナー炎口部の目づまり汚れ。	ノズル部の目づまり。	点火操作が不適切。	器具栓の故障。
ガスカートリッジ（容器）が取り付けられない。	○					
点火しない（しにくい）。		○	○	○	○	
炎が安定しない。		○	○	○		○
火力が弱い。		○	○	○		○
消火しない。						○
処置方法	コールマンTタイプ専用容器を使用する。	新しいものと交換する。	目づまりをとる。点検修理を依頼する。	点検修理を依頼する。	取扱説明書を読んでから再度行う。	点検修理を依頼する。

※以上の事項をご確認の上、それでも不具合な場合、あるいはご不明な点がある場合は、お買い上げの販売店に保証書を添えて点検・修理をご依頼ください。

アフターサービス
●お買い上げいただきました製品には万全を期しておりますが、万一不備な点がございましたらお買い上げの販売店、もしくは下記までご連絡ください。

Coleman
The Outdoor Company™
コールマン ジャパン株式会社
〒108-0023
東京都港区芝浦4-9-25芝浦スクエアビル
お問い合わせ先 0120-111-957

仕 様

品　　名	ロードトリップ® グリルLXE-J Ⅱ
型　　式	2000017066
外 形 寸 法	約118×46×112.5（H）cm（使用時）
重　　量	約18kg（本体のみ）
使 用 容 器	コールマンTタイプ専用容器
点 火 方 式	自動点火方式（使用電池／9V形アルカリ乾電池）
ガス消費量	約420g/h（約210g/h×2）（スーパーガス・最大出力時）
燃 焼 時 間	約2～4時間（470g缶×2本使用時）

発売元：コールマン ジャパン株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25芝浦スクエアビル　お問い合わせ先 0120-111-957
商品のお問合わせについては、上記へご連絡ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店、または当社が無料保証いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   （イ）本書のご提示がない場合。
   （ロ）本書に、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷。
   （ニ）お買い上げ後に、落とされた場合等による故障、損傷。
   （ホ）火災、公害および地震、風水害、塩害その他天災地変等、外部に要因がある故障、損傷。
   （ヘ）指定外の燃料使用による故障、損傷。
   （ト）消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
3. 保証期間経過後の有料修理は、お客様のご希望により、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。
4. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

コールマン製品保証書　Model 2000017066

お客様	ご芳名	様　TEL.
	ご住所	
取扱販売店	店名・住所・電話番号	
保証期間	お買い上げ日	年　月　日より 1年間

本書は、本書記載内容にそって無料修理をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品に本書を添え、お買い上げの販売店にご依頼ください。
お買い上げ年月日、販売店名などの記入もれがありますと無効になります。必ずご確認いただき、記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。また、お買い上げいただいた時のレシート、領収書を下に添付して保管ください。
ご転居、ご贈呈などでお買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、最寄りのコールマン製品取扱店にご依頼ください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

お買上げ時レシート添付場所（お買上げ年月日、販売店の証明がないと保証を受けられない場合がありますのでご注意ください。）

4010034030(ECN20049698-03)

The Outdoor Company™

www.coleman.co.jp